

部局名	総務企画部	所属名	秘書課	所属長名	大平 純一郎	電 話	483-1151 内線2302
-----	-------	-----	-----	------	--------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3011		事務事業名称	秘書総務事業					短縮コード	経常	3011	臨時	
予算区分	会計	01	一般会計	款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	01	一般管理費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		八千代市表彰規則						
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
市長の秘書及び渉外に関する総括的な事務であり、秘書業務は市政施行当初、また、表彰は昭和36年から規則化している。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	5本の柱（章）	06	計画推進のために					
「市民対話」は、市長自ら市民と対面し、市政に対する意見交換をする場である。市民ニーズが多様化する中で、市民参加を推進していくためには、その意義は大きく今後も継続していくと共に、いろいろな場面を通じて市民や市民団体との意見交換を積極的に進める。						大項目（節）	01	パートナーシップによる市政運営と市民自治の推進					
						中 項 目	01	パートナーシップによるまちづくりの推進					
						小項目（施策）	02	市民参加体制の充実					
						細 項 目	03	市民ニーズの的確な把握と市政への反映					
実 施 計 画 の 計 画 事 業													
計画事業の位置付けの有無				☐	計 画 事 業 期 間		～		計 画 事 業 費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	1. 市長、副市長、庁内各課、関係機関(市民) 2. 市政に功労のあった個人・団体・法人(自治・産業・教育・文化・社会事業・衛生・民生・消防・防犯・市政・善行者) 3. 各種団体、グループ									
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成19年度に実際に行ったこと： 1. 渉外事務 (1) 翌年度の行事予定を事前に把握する。(2) 関係部門と業務内容について検討する。(3) 外部機関、関係者(市民) との連絡・調整を行う。 2. 表彰者 (1) 各部に候補者の推薦依頼し、表彰規程に基づき庁議で審査する。(2) 決定者に表彰式への通知をする。(3) 表彰式を挙行(11月23日)する。(4) その他の善行者・寄付者に対しては、随時表彰する。 3. 市民対話 (1) 市長対話・講話の日程を調整する。(2) 市長対話・講話内容の打合せを行う。(3) 対話・講話資料の作成を作成する。									
	※平成20年度に計画していること： 1 9年度と同様									
意図 （何を狙っているのか）	1. 市長、副市長の公務を効率的且つ効果的に遂行する。 2. 市政に功労のあった者や市民の模範となる者の功績に報いるため、表彰を行い広く周知することにより、市民に市政への貢献意識を高めてもらう。 3. 市民参加型の市政運営の一環として、多くの市民の意見を聞くためである。									
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外									
区 分					単位	1 8 年度	1 9 年度		2 0 年度	
						実績	計画	実績	計画	
対象指標	指標 1	市民及び市政に貢献した個人・団体	件	40	50	40	50			
	指標 2	市長対話・講話の団体	件	26	30	20	30			
	指標 3									
活動指標	指標 1	表彰審査件数	件	40	50	49	50			
	指標 2	市長対話・講話申込件数	件	26	30	20	30			
	指標 3									
成果指標	指標 1	表彰件数	件	40	50	40	50			
	指標 2	市長対話・講話実施件数	件	26	30	20	30			
	指標 3									
上位成果指標	指標 1									
	指標 2									
	指標 3									

コード		3011	事務事業名称	秘書総務事業		所属名	秘書課	
			単位	１８年度	１９年度			２０年度
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円					
		県	千円					
		地方債	千円					
		一般財源	千円	4,139	5,425	4,039	5,474	
		その他	千円					
	主な事業費の内訳		秘書業務費 3,787 (うち交際 費1,164) 表彰関係費 352	秘書業務費 4,660 (うち交際 費2,300) 表彰関係費 765	秘書総務 業務費 4,039 (うち交際 費1,271) 表彰関係費 459	秘書総務業務費 5,474 (うち交際 費2,300) 表彰関係費 748		
	人件費(B)		千円	45,596.8	44,960	45,477.5	45,477.5	
トータルコスト(A)+(B)		千円	49,735.8	50,385	49,516.5	50,951.5		

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分	理 由					
目的 妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている	上位の施策の「市民参加体制の充実」を推進するために、秘書総務事業においては、特に市民対話は重要な位置づけになっており、結びついている。					
			☐ 結び付くが見直しの余地がある						
			☐ 結びつきが弱い・ない						
			☐ 評価対象外事項						
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している	事業内容が所期目的を達成するというものでなく、継続性を持って行う事業である。					
			☒ 達成していない						
			☐ 評価対象外事項						
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある	市長の秘書及び渉外に関する事務であるため、民営化に該当する内容でない。					
			☒ 可能性はない						
			☐ 評価対象外事項						
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい	現状の「対象」・「意図」の設定で結果に結びつく。					
			☐ 見直す必要がある						
☐ 評価対象外事項									
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－２，３を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある	この事業が目標に対する達成度合いを示すものではなく、また、経費のうち交際費以外は義務的な経費であるため、削減する部分がない。しかしながら、秘書総務事業は業務そのものが間接的にまたは長期的に、円滑な行政運営や市民参加のまちづくりに反映される。					
			☐ 効率性向上の可能性はある						
			☐ 両方可能性はある						
			☒ 可能性がない						
	⑤－２ 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等						
			☐ 臨時的任用職員等の活用						
			☐ ＩＴ化等業務プロセスの見直し						
			☐ 受益者負担の見直し						
			☐ 類似事業との統合・役割見直し						
			☐ 上記以外の方法	類似事務事業名称	1		実施主体 (所管部署)		
				2		実施主体 (所管部署)			
	⑤－３ 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ ある						
			☐ ない						

コード	3011	事務事業名称	秘書総務事業				所属名	秘書課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。				☐ 改革・改善して継続			市長の秘書及び渉外に関する事務内容であるため、現状の継続となる。
					☐ 手法プロセスの改革・改善			
					☐ 事業規模の拡大・縮小			
					☐ 統合・役割見直し			
	☐ その他							
	☐ 廃止							
☐ 休止								
☒ 現状のまま継続								
⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			義務的な経費以外では、交際費における見直しを進め削減に努めて来ている。また旅費等についても内容を検討し削減に努めているが相対的な支出においては変化はない。		
			削 減	不 変	増 加			
	成 果	向 上	☐	☐	☐			
		不 変	☐	☒	☐			
		低 下	☐	☐	☐			

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
1．市長に会う時間がなかなか取れない。 2．各団体が主催する行事への出席依頼があるが、時間帯の重複等で出席できないことがある。（時期的な行事で休日等が開催されるもの）	

所属長コメント	渉外事務のうち交際費の削減については、これまで内容の大幅な見直し等により、一定の効果が得られており、今後もその内容の検討を行っていく。 表彰事務、市民対話等については、現在の水準を維持しながら内容の充実に取り組む。	
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続	担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。
	☐ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
	☐ その他	
	☐ 廃止	
	☐ 休止	
	☒ 現状のまま継続	